

シンポジウム 「歯科診療の感染対策を考える」

開催趣旨

幼少期の予防接種における注射器の使い回しにより、B型肝炎の感染が拡大しました。歯科診療を巡っては、平成26年6月に、一部のクリニックなどで歯を削る機器（ハンドピース）について、十分な滅菌消毒をしないで、別の患者に連続使用しているという報道がなされました。歯科での感染対策を推進するために、本年4月には診療報酬改定もなされています。歯科診療の現場での感染対策の実情をふまえて、今後、患者が安全に歯科診療を受けることができるためにどのようにとりくむべきなのか、一緒に考えましょう。

開催日時 **2018年5月19日(土)** 14:30~16:30

開催場所 **ウインクあいち1001号室**

入場無料

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

(事前申込みは不要ですが、先着順・定員170名)

当日の流れ

○14時30分～15時15分 基調報告・説明等

東海北陸厚生局 平成30年歯科の診療報酬改定の内容についての説明
長江浩幸医師による「肝炎等の感染リスクに関する注意点」
橋詰義幸歯科医師による「臨床現場における感染対策の実際」

○15時20分～16時20分 シンポジウム

パネリスト

- ・ 橋 詰 義 幸 さん (愛知県保険医協会理事・歯科医師)
- ・ 梁 井 朱 美 さん (集団予防接種等によるB型肝炎感染拡大の検証及び再発防止に関する検討会メンバー)
- ・ 長 江 浩 幸 さん (総合病院南生協病院院長・肝臓専門医)

問合せ先

全国B型肝炎訴訟名古屋(愛知・岐阜・三重)弁護団事務局
〒460-0002名古屋市中区丸の内3-8-10 ISH丸の内ビル3E
TEL 052-961-0788

主催 全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団
共催 愛知県保険医協会